



にほんじょせい やさ
『日本女性の優しさ』



張 英英さん

中国



「光陰矢の如し」というように、時間が経つのは本当に早いものです。日本に来てもう半年になりました。このテーマを決めたきっかけは、夏休みにあった一つの出来事でした。

私は八月に静岡市の留学生のための就職支援講座に参加しました。もともと日本語にまったく自信がない私は参加するだけしてみようという気持ちで出かけました。担当の講師の方は日本の女性でした。説明の仕方や話の進め方はユーモアがあって、とても面白く、魅力がありました。その後の模擬面接の時、日本語が下手な私にすごく親切でした。言いたいことを言えなかった場合でも、静かに私の話を聞いてくれました。「日本に来てまだ半年しか経っていないのに、日本語がお上手ですね」と褒められました。「上手ですね、頑張って」と何度も言われました。その先生が話している間、明るく、ずっと笑顔だったので、緊張がほぐれていきました。ですから、その講座に興味が湧きました。そして、日本女性の優しさもつくづく感じました。

このことは自分が初めて日本に来たころのことを思い出させました。

それは3月25日のことでした。私はバスに乗って、スーパーに買い物に行きました。そして、その帰り道に私はたまたま来たバスに乗ってしまいました。何と、それは違う路線のバスでした。富士市と中国のバスは運行システムが全く違っていたのです。気づいた時、自分がどこにいるか全然分からなくなってしまいました。3人ぐらいの通行人に聞きましたが、本当に来たばかりで家の住所すら知らず、完全に道に迷ってしまいました。「どうしよう。携帯電話もまだ買ってないし、大学の電話番号もわからないし…」

困っている私を助けてくれたのは日本の30代の主婦でした。私の事情を聞いてから、わざわざ自宅の車庫から車を出して、大学まで送ってくれました。車でも、30分ほどかかりました。知り合いでもなかったのに、そこまでしてくれて、私は彼女の優しさに心から感動しました。今でも、あの時のことをはっきり覚えています。

日本に来てから、アルバイトで知りあった主婦たちや学校の先生方、スーパーで偶然出会った

おばあちゃんやお店のスタッフなど、女性じよせいからいろいろと助けたすてもらいました。

日本人にほんじんは「やさしい」という言葉ことばをよく使つかうと思おもいます。私わたしもこの言葉ことばが好すきです。人ひとに対たいしてやさしいことができる人ひとに憧あこがれます。いつか日本女性にほんじよせいのように、「優しい女性やさしいじよせい」になりたいです。

ご清聴せいちょうありがとうございました。